



# 指扇中だより



～WE LOVE SASHIOGI!～

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 TEL 048(624)6234 FAX 048(624)2479

## 『Pearl-White Eve』



校長 おおこうち のりかず 大河内 範一

私はどうも忘れっぽい。先日も妻から「なんでいつも家中の電気を消し忘れるのか」と手厳しい指摘があった。私は自分のだらしなさを反省しつつも、「明かりをつけているのは旅人が道に迷わぬようにね」と返答した。昔話っぽくて、なかなかいい返しだなと思ったのだが、妻は仏頂面であった。

また別の日、「なんで子どもみたいに、いろいろな物をしまい忘れるのか」とさらに厳しい追及があった。私は自分のふがいなさを反省しつつも、「いつまでも少年の心を忘れないようにするためさ」と返答した。ドラマっぽくて、なかなかいい返しだなと思ったのだが、妻は苦虫を噛み潰したような顔をしていた。

「人の記憶は1日で急速に失われていき、その後は緩やかに失われていく」と言われているので、仕方がないところではあるのだが、実は忘れっぽい人に効果的な食材もある。「大豆」は脳の細胞膜を柔らかく保つ働きがあり、「玄米」は脳の酸化を防いでくれる。いよいよ健康食品にも注視する必要があるかもしれない。

『わすれんぼうのサンタクロース』という絵本がある。サンタさんは、衣装に着替えるのを忘れてたり、子どもたちへのプレゼントを忘れてたり、行き先を記した大切な地図を忘れてたり……。最後には、クリスマスの日を忘れてしまい、すでにお正月になっていたという大失態を演じるのだが、子どもたちにお年玉の代りにプレゼントを配ったところ大喜びされたという、ほのぼのとした「落ち」になっている。たとえ忘れっぽくてもハッピーエンドが待っているのである。

心理学者のエビングハウスは「人間は忘れる生き物である」と言っている。他にも、文献学者のニーチェは「忘却はよりよき前進を生む」、小説家のアンドレ・モーロアは「忘却なくして幸福はあり得ない」という言葉を残してくれている。先人たちが忘れることについて好意的に捉えてくれているのは、何より心強い。

さて、今年もいよいよ師走になった。この後、クリスマスや年末行事などが慌ただしくやって来るが、辛かったこと、嫌だったこと、失敗したことなどなど、自分に都合が悪いことはきれいさっぱり忘れてしまおう。そして、嬉しかったこと、感動したこと、よい思い出になったことだけをしっかりと記憶にとどめておくようにしよう。気持ちをリフレッシュして新しい年を迎え、新たな決意で臨んでほしい。それが幸せに生きていく秘訣かもしれない。

ただし、受験生諸君は、勉強してせつかく覚えたことを忘れちゃダメですよ。